

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	高知県
-------	-----

I. 学校の概要（平成 15 年 4 月現在）

学校名	中村市立 具同小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	3	2	2	2	2	16	27
児童数	72	87	82	75	80	61	3	460	

II. 実践研究の概要

1. 研究主題

自ら学び自ら考える活動を通して、主体的に判断し行動できる子どもの育成
 —— 一人ひとりに基礎基本の確実な定着 ——

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

○ 全学年：計算力・漢字力・読書力
 本校では、朝の 10 分間読書、各学年で習得しなければならない漢字の定着、そして四則計算を速く正確にできることを目指して、基礎学力タイム（読書タイム・漢字タイム・計算タイム）の時間を特設し、毎日継続して取り組みを進めている。また、計算と漢字については、学期ごとに定着度テストを実施し、基礎的な学力の定着に力を入れている。

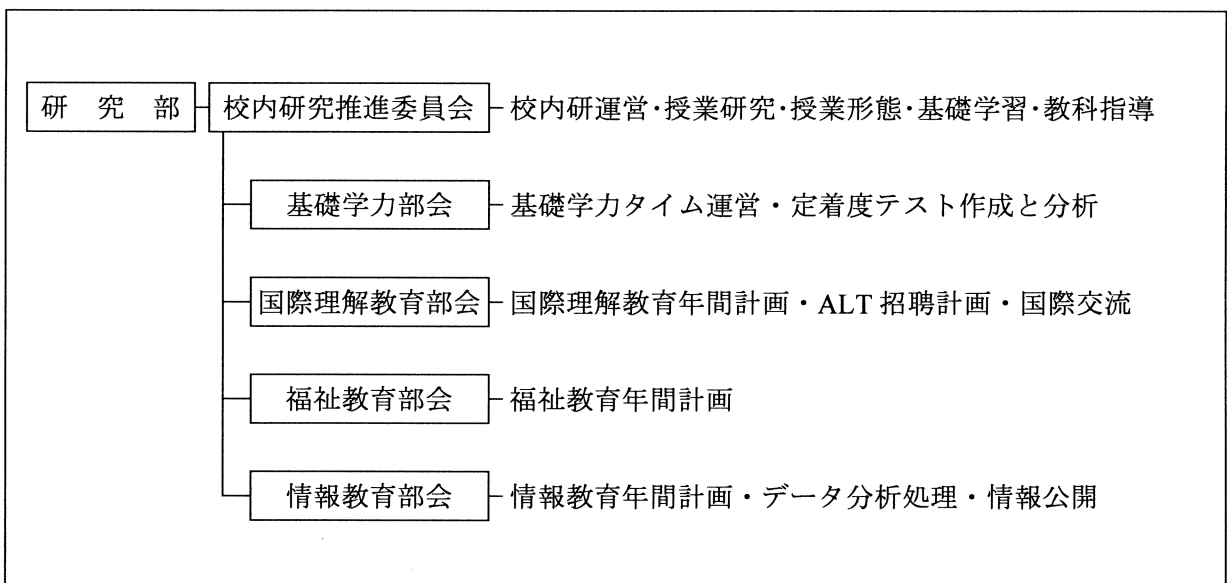
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	<p>○テーマ 学習の基礎・基本である「読み」「書き」「計算」の定着を目指して</p> <p>○仮 説 基礎・基本の定着が児童一人ひとりの学習能力を向上させ、意欲的な学習活動につながる</p> <p>○研究内容・方法 ・基礎学力定着度テストの実施と分析による個に応じた対応 ・分かる授業づくりの実践に向けた研究 ・TT活用による授業実践</p>
-----------	---

平成15年度	<p>○テーマ 基礎学力の向上と一人ひとりが主体的に取り組む授業の創造</p> <p>○仮説 基礎学力の定着が日々の学習活動場面で意欲的に取り組むことにつながる</p> <p>○研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた基礎基本の定着・・・定着テストの分析と具体的手立て ・基礎学力の定着と日々の分かる授業づくり実践の創造 ・「指導のポイント（4教科）」の具体的実践研究並びに成果と課題の分析と見直し ・T T、少人数指導、教科担任制等の活用による授業形態の工夫・改善
--------	--

平成16年度	<p>○テーマ 個に応じた基礎学力向上の在り方と主体的に授業に取り組む児童の育成</p> <p>○仮説 基礎学力の定着が、児童一人ひとりの学習意欲を向上させ、より主体的に学習に取り組む、生きた学力の創造につながる</p> <p>○研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた基礎基本の定着・・・定着テストの分析と具体的手立て ・基礎学力の定着と日々の分かる授業づくり実践の創造 ・「指導のポイント（4教科）」の具体的実践研究並びに成果と課題の分析と見直し ・T T、少人数指導、教科担任制等の活用による授業形態の工夫・改善 ・三年間の研究実践の総括
--------	--

(3) 研究推進体制



Ⅲ. 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 計算タイム……意欲的に取り組み、計算力の向上が見られた。
(定着度テスト学校平均：H13 (96.5) → H14 (96.1) → H15 (98.4))
- ・ 漢字タイム……意欲的に取り組み、新出漢字の定着が図れた。
(定着度テスト学校平均：H13 (88.9) → H14 (90.0) → H15 (90.6))
- ・ 読書タイム……今年度、年間読書目標を設定したことにより、更に意欲的に取り組む姿が見られるようになった。
 - ・ 低学年 (100 冊) ・ 中学年 (3000 ページ) ・ 高学年 (5000 ページ)
- ・ 研究授業等
 - ① 「指導のポイント (4 教科)」「説明文の読みの学年別到達目標」「言語文法指導の学年別年間指導計画」等を作成し、全体の系統性を把握することで各学年の重点が見えてきた。
 - ② TT 活用による研究授業並びに日々の実践研究において、具体的な入り方や TT 指導の有効性や補完点などが見えてきた。
 - ③ 読書指導においては、実践家を講師に招いて、色々な実践例を学び読書指導の大事さを再確認することができた。

2. 今後の課題

- ① 学習の基礎・基本である「読み」「書き」「計算」の定着を目指して、これまでの取り組みを一層充実発展させる。
- ② 個々の児童へのよりきめ細かい指導の在り方や授業形態の工夫を通して、児童一人ひとりの学習意欲を向上させ、より主体的に学習に取り組み、生きた学力の創造につながる授業づくりの取り組みを継続して、実践研究していく。

Ⅳ. 学力把握のための学校としての取組

- ・ CRT (国語：5月、算数・国語：2月)の実施と分析を行う。
- ・ 定着度テスト (各学期毎に、漢字力・計算力の定着度テスト実施)
- ・ 漢字検定テスト (1月の実施)
- ・ 算、国、社、理、学年別到達度調査 等

Ⅴ. フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 本年度ホームページを立ち上げることができ、今後研究成果等を情報発信する計画である。
- ・ 事務所訪問時等、本事業の趣旨と研究の経過並びに取り組みについてのプレゼンテーションを実施し、理解と協力を求めた。
- ・ 学力向上推進協議会等において随時実践の成果を発表してきた。
- ・ 2月に波介小学校からの訪問があり、授業公開並びに研究協議を実施した。
- ・ 平成16年度11月下旬から12月上旬に研究発表会を開催する予定である。

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T. Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無